



平成 27 年 9 月 7 日

各 位

会 社 名 テクマトリックス株式会社
代表者名 代表取締役社長 由利 孝
(コード：3762、東証第一部)
問合せ先 執行役員管理本部長 森脇 喜生
(TEL. 03-4405-7802)

大規模・高品質ソフトウェア開発支援のための 開発テスト管理プラットフォーム「Parasoft DTP」の販売を開始

当社は、米国 Parasoft Corporation (本社：米国カリフォルニア州、最高経営責任者：Elizabeth Kolawa) が開発した大規模・高品質のソフトウェア開発支援のためのソフトウェア開発テスト管理プラットフォーム「Parasoft Development Testing Platform (以下 Parasoft DTP)」および、Java 対応テストツール「Jtest DTP」の販売を、本日より開始しましたので、お知らせします。

昨今の金融機関や企業システムなどのソフトウェア開発は、より大規模化、複雑化しています。その中で、いち早く市場に製品やサービスを提供するために、より一層の開発スピードと品質の向上が求められています。そのためには、開発現場の状況を正確、リアルタイムに把握することが必要です。

「Parasoft DTP」は、ソフトウェア開発現場における様々な情報を収集し、一元管理を実現する新しい概念のプラットフォームです。これまでソフトウェア開発の現場側に分散していた、不具合の発生状況・作業工数、品質低下の兆候などの情報を、一元的に管理することができます。開発現場の情報をリアルタイムに管理することで、プロジェクト管理者は迅速な意思決定とフィードバックが可能になり、各開発者は優先づけられた明確なタスクに取り組むことができます。

当社は、Parasoft 社製品の国内総販売代理店として、ソフトウェア開発現場のお客様の不安や課題を解決するため、「Parasoft DTP」、「Jtest DTP」の販売、マーケティング、サポート活動を一層強化してまいります。

以 上

平成 27 年 9 月 7 日

報道関係者各位

テクマトリックス株式会社

迅速な意思決定をサポートする ソフトウェア開発・テスト管理プラットフォームを販売開始

テクマトリックス株式会社(本社：東京都港区、代表取締役社長：由利孝)は、米国 Parasoft Corporation (本社：米国カリフォルニア州、最高経営責任者：Elizabeth Kolawa)が開発したソフトウェア開発・テスト管理プラットフォーム「Parasoft Development Testing Platform (以降、Parasoft DTP と記す)」の販売を平成 27 年 9 月 7 日より開始します。

Parasoft DTP は企業の SDLC (ソフトウェア開発ライフサイクル) を加速し、迅速な意思決定をサポートするソフトウェア開発・テスト管理プラットフォームです。ソフトウェアの「信頼性」と「リリーススピード」に対する市場からの要求が日増しに高まる一方で、多くの企業ではこの要求に応えることができず、品質、スピード、コスト、あるいはブランドイメージをも犠牲にしている場合があります。企業がこの市場要求に応えるために必要なことは、正確な開発状況と潜在リスクをリアルタイムに把握し、迅速な意思決定によって開発プロセスをコントロールすることです。

それらを実現するための強力なソリューションとなるのが、SDLC を加速させるソフトウェア開発・テスト管理プラットフォーム **Parasoft DTP** です。**Parasoft DTP** は複数の基盤システム (構成管理、変更管理、不具合管理、ビルド管理、テストなど) の情報を統合し、独自のリスク分析アルゴリズムによって導き出されたビジネスリスクと開発状況をリアルタイムに可視化します。これにより、企業にリスクの分析とリスクのコントロールの機会を提供し、SDLC を加速させます。さらに、Jtest DTP など Parasoft 社製テストツールと連携することによって、ソースコードに潜む欠陥の数を大幅に低減させることも可能になります。

多くの企業が、ソフトウェアの「信頼性」と「リリーススピード」に対する市場からの要求に応えるために必要となる開発・テスト基盤構築を **Parasoft DTP** は実現します。

《Parasoft DTP の特長》

ソフトウェア開発現場において、正確な開発状況と潜在リスクをリアルタイムに把握し、迅速な意思決定を実現するために、**Parasoft DTP** は次のような特長を持っています。

◆複数の基盤システムの情報を一元管理

組織が SDLC を加速させるためには、まず何よりプロジェクト、または開発者がそれぞれに運用する基盤システムの情報を集約することが不可欠です。**Parasoft DTP** は、これまでプロジェクトや開発者ごとに管理されていた基盤システムの情報を自動的に集約し、一元管理を行うことを可能にします。さらに **Parasoft DTP** はオープン API を搭載しているため、サードパーティ製の基盤システムの情報も含めた管理を容易にします。そして、ユーザーはブラウザを通して集約された開発状況の情報を隅々まで正確に把握することが可能です。

◆ダッシュボードの柔軟なカスタマイズにより、情報の最適化を実現

Parasoft DTP は、集約された情報をユーザーへ視覚的に提供するためのダッシュボードを備えており、ダ

ここに記載された各ハードウェア及びソフトウェアは、それぞれのメーカーの商品名もしくは商標です。

ダッシュボードはユーザーごとのミッションや役割に応じて柔軟にコンテンツをカスタマイズすることができます。例えば、集約した情報のグラフ化、設定した基準値に応じたランク付け、比較、複数の情報を組み合わせたグラフなど、収集した膨大なデータの中から適切な情報を選択、加工して表示することで、ユーザーの迅速な意思決定をサポートします。

◆ドリルダウン機能により問題の原因箇所の特定を効率化

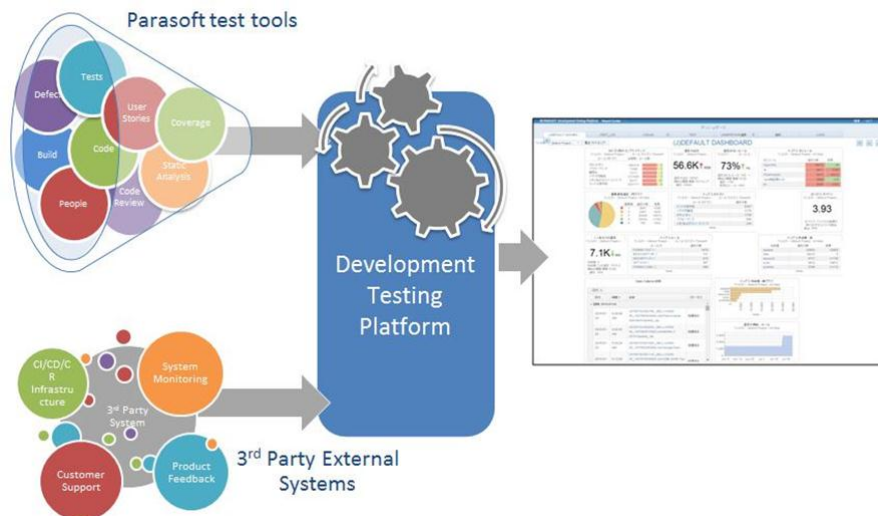
Parasoft DTP のダッシュボードでは、全体を俯瞰した状態から詳細な情報へドリルダウンしながら状況を確認することができます。例えば、あるプロジェクトにおける静的解析によるソースコード上の違反検出数の変遷を俯瞰し、検出数が増加したタイミングがあれば、ブラウザ上でドリルダウンしていくことによって、その担当者、発生日時、違反しているルール、問題の原因箇所、さらにはビジネスへの影響度の大きさなどを分析し、即座に修正にとりかかることができます。

このように Parasoft DTP では、集積して得られた情報からすぐに次のアクションを起こすことを可能にします。

◆アクションアイテムを適切なスタッフの作業環境にフィードバック

開発中のソフトウェアにおける重大な欠陥などの情報を、それぞれの開発者の間で迅速に共有することで、品質劣化リスクに対する対応スピードを飛躍的に向上させることができます。Parasoft DTP を用いることで、オープン API によって集約されたテスト結果などの情報を自動的に各開発者へ振り分けることができ、さらにその情報をワンクリックで開発ツールにインポートすることができます。これにより、各開発者は素早く修正に取りかかることができ、バグやデグレードなどのリスクを最小限に留めることが可能です。

(各開発者の所有 PC に Parasoft 社製テストツールのインストールが必要になります。)



さらに詳しい製品特長につきましては web ページをご確認ください。

Parasoft DTP : <http://parasoft.techmatrix.jp/>

担当者別ダッシュボード活用例 : <http://parasoft.techmatrix.jp/casestudy/>

テクマトリックス株式会社は、Parasoft 製品の国内総販売代理店として、ソフトウェア開発に携わる全てのお客様の課題を解決する最適なツールとして、Parasoft DTP の販売、マーケティング、ユーザーサポート、さらにご要望に応じたダッシュボードやウィジェットのカスタマイズなどの活動を強化してまいります。

ここに記載された各ハードウェア及びソフトウェアは、それぞれのメーカーの商品名もしくは商標です。

製品の出荷について

Parasoft DTP は、平成 27 年 9 月 7 日から販売を開始します。

■テクマトリックス株式会社(東証一部：3762)について

テクマトリックス株式会社は、IT 分野において、最先端の製品とソリューションを提供する総合的なソリューション プロバイダーです。ソフトウェア品質管理、ネットワーク、セキュリティなどの分野の製品を海外より輸入し、日本国内に提供するためのローカライゼーション、コンサルティング、技術サポート、教育などさまざまな付加価値を付けてご提供します。この中で、ソフトウェア品質保証サービス提供には 17 年の実績を持っています。一方、これらの技術を駆使し、製造分野、金融分野、通信分野、IoT 分野などにおいて、お客様のニーズに適合したソリューションの提供、インテグレーション、システムの受託開発などのサービス提供、さらに、コールセンターシステム、医用画像システムなどの自社製品の開発も行っています。

詳細は Web サイト：<http://www.techmatrix.co.jp/> をご参照ください。

■Parasoft Corporation について

Parasoft は、25 年以上にわたり、ソフトウェアのバグがアプリケーションに混入する原因と仕組みを研究し、数々のソリューションを提供してきました。Parasoft のソリューションは、ソフトウェア開発ライフサイクルにおける継続可能なプロセスとして、品質改善活動を支援し、頑強なソースコードの実装、無駄がなく機能性の高いシステムの構築、安定したビジネスプロセスの実現を可能とします。数々の賞を受賞した Parasoft 製品は、長年の研究成果と経験から得られたノウハウを自動化し、エンタープライズシステムから組み込みソフトウェアまで、どのようなタイプのソフトウェア開発においても、生産性向上と品質改善を実現します。Parasoft のコンサルティングサービスは、ツールでは解決できない問題の解決や開発プロセスの改善など、Parasoft の 25 年以上の経験を直接お客様に提供し、お客様の改善活動を支援します。

詳細は Web サイト：<http://www.parasoft.com/> をご参照ください。

【この発表に関するお問い合わせ先】

テクマトリックス株式会社

システムエンジニアリング事業部 ソフトウェアエンジニアリング営業部

TEL 03-4405-7853 FAX 03-6436-3553

E-MAIL: parasoft-info@techmatrix.co.jp

URL: <http://parasoft.techmatrix.jp/>

平成 27 年 9 月 7 日

報道関係者各位

テクマトリックス株式会社

高速な静的解析と効率的なコードレビューを実現 利便性を高めた新たな Java 対応テストツールを販売開始

テクマトリックス株式会社(本社：東京都港区、代表取締役社長：由利孝)は、米国 Parasoft Corporation (本社：米国カリフォルニア州、最高経営責任者：Elizabeth Kolawa)が開発した Java 対応テストツール「**Jtest DTP**」の販売を平成 27 年 9 月 7 日より開始します。

Jtest DTP は高品質な Java システム開発を強力にサポートする静的解析機能を搭載したテストツールです。さらにソフトウェア開発・テスト管理プラットフォーム **Parasoft DTP** と連携し、ソフトウェア開発ライフサイクルを加速させる様々な拡張機能を活用することができます。

Jtest DTP はこれまで金融、通信、製造など幅広い分野で 4,000 ライセンス以上の導入実績を誇る **Jtest** をベースに、CI (継続的インテグレーション) との親和性を高め、解析エンジンの強化、解析パフォーマンスの大幅な向上、Java 8 への対応など様々な機能を拡張し、より使いやすいツールとして進化しました。

また、ソフトウェア開発・テスト管理プラットフォーム **Parasoft DTP** と連携することで、独自の WEB UI を活用したテスト状況の共有や、効率的なカバレッジの収集、バグの修正状況のトレースなど、さらなる開発の効率化を実現することができます。

テクマトリックス株式会社は、Parasoft 製品の国内総販売代理店として、ソフトウェア開発に携わる全てのお客様の課題を解決する最適なツールとして、**Jtest DTP** の販売、マーケティング、ユーザーサポートなどの活動を強化してまいります。

【Jtest DTP】の特長

Jtest DTP は、高品質な Java システムの開発とテスト工数の大幅削減を強力にサポートする Java 対応テストツールです。1,000 個以上のコーディングルールをもとにソースコードを静的に解析し、プログラムの問題点やクラスを横断した特定の処理フローに潜む検出困難なエラーを検出します。

◆高速で強力な静的解析機能

Jtest DTP の静的解析機能は、従来の **Jtest 9.5** から約 50% のパフォーマンス向上を実現し、大規模なプロジェクトにおいても快適な解析が可能です。さらに、マルチスレッドにおけるデッドロックを防止するルールなど、静的フロー解析機能における新ルールが複数追加されています。さらにメトリクス機能も強化され、メソッドの Cyclomatic 複雑度、クラス結合度、クラス凝集度など、ソースコードの客観的な品質評価のための指標を提供します。

◆ビルドツール連携による CI との高い親和性

ビルドツールとの連携が強化され、CI との親和性が大幅に向上しました。CI 環境で **Jtest DTP** による解析を実行する場合、リポジトリのビルド設定ファイルを変更する必要がなく、他の開発者やビルド担当者に影響を与えません。そのため、CI 環境へスムーズに **Jtest DTP** を導入することができます。

ここに記載された各ハードウェア及びソフトウェアは、それぞれのメーカーの商品名もしくは商標です。

◆専用ビューワーによる解析結果の効率的なレビュー

Eclipse/IntelliJ IDE に対応した専用のビューワーから解析結果を参照できるため、開発者は生産性を落とすことなく修正作業を行うことができます。

◆Java 8、TestNG のサポート

Java の最新版 Java 8 に対応し、ラムダ式やストリーム API 等の構文を使用しているコードに対して解析が可能です。また単体テストの実行において、従来の Jtest で対応していた JUnit に加え、新たに TestNG をサポートしました。

Parasoft DTP と連携することで、開発の効率化を支援する様々な拡張機能を活用することができます。

Parasoft DTP とは、複数の基盤システム（構成管理、変更管理、不具合管理、ビルド管理、テストなど）の情報を統合し、独自のリスク分析アルゴリズムによって導き出されたビジネスリスクと開発状況をリアルタイムに視覚化するソフトウェア開発・テスト管理プラットフォームです。企業にリスクの分析とリスクのコントロールの機会を提供し、SDLC の加速を強力に促進します。

Parasoft DTP : <http://parasoft.techmatrix.jp/>

◆サードパーティ製の静的解析ツールの結果をマージし、複数言語に関わる課題を検出可能

Web システムの開発では Java (JSP や Servlet も含む)、HTML、JavaScript に加え、PHP など開発言語として使用されています。そのような場合、Jtest DTP の解析対象外の言語はサードパーティ製の静的解析ツールで解析し、結果を Parasoft DTP で共有することで Java 言語のみにとどまらないプロジェクトの課題を見つけ出すことができますようになります。

◆専用の Web UI による効率的なコードレビュー

Jtest DTP の解析結果を Parasoft DTP に連携することで、インスペクションレビューなどを専用の Web UI を利用して実施することができますようになります。また、違反にコメントを追加することもでき、修正内容などをエビデンスとして残すことができます。

◆効率的な修正作業を行なえる開発者別の違反ダウンロード機能

Jtest DTP による解析終了後、開発者は Parasoft DTP から自分が担当したコードに対する違反のみをダウンロードすることができます。そのため、大量の違反から自分の違反を選定する必要はなくなり、スムーズに修正作業に着手することができます。

◆異なるクラスに対して実行された単体テストから取得したカバレッジデータをマージ可能

JUnit で単体テストを実行する場合、異なるテストケースから得られたカバレッジ情報をマージすることができます。そのため、不要なテストケースの作成工数を削減でき、効率的なテストの実施が可能になります。また、マージされたカバレッジデータは開発者の IDE に用意された専用ビューワーで参照することができるため、テストケース追加の際に単体テストの効率的な実施が可能です。

◆違反のトレースが可能

違反が検出された日時やいつ修正されたのかを Parasoft DTP のダッシュボードから確認することが可能になります。

ここに記載された各ハードウェア及びソフトウェアは、それぞれのメーカーの商品名もしくは商標です。

製品特長につきましては web ページをご確認ください。

Jtest DTP : http://www.techmatrix.co.jp/quality/jtest/jtest_dtp.html

製品の出荷について

Jtest DTP は、平成 27 年 9 月 7 日から販売を開始します。

平成 27 年 9 月 7 日において、保守サービスをご契約いただいている Jtest ユーザー様には、**Jtest DTP** を無償でご提供します。出荷は平成 27 年 10 月上旬頃を予定しています。

■テクマトリックス株式会社(東証一部：3762)について

テクマトリックス株式会社は、IT 分野において、最先端の製品とソリューションを提供する総合的なソリューション プロバイダーです。ソフトウェア品質管理、ネットワーク、セキュリティなどの分野の製品を海外より輸入し、日本国内に提供するためのローカライゼーション、コンサルティング、技術サポート、教育などさまざまな付加価値を付けてご提供します。この中で、ソフトウェア品質保証サービス提供には 17 年の実績を持っています。一方、これらの技術を駆使し、製造分野、金融分野、通信分野、エレクトロニック・コマース分野などにおいて、お客様のニーズに適合したソリューションの提供、インテグレーション、システムの受託開発などのサービス提供、さらに、コールセンターシステム、医用画像システムなどの自社製品の開発も行っています。

詳細は Web サイト : <http://www.techmatrix.co.jp/> をご参照ください。

■Parasoft Corporation について

Parasoft は、25 年以上にわたり、ソフトウェアのバグがアプリケーションに混入する原因と仕組みを研究し、数々のソリューションを提供してきました。Parasoft のソリューションは、ソフトウェア開発ライフサイクルにおける継続可能なプロセスとして、品質改善活動を支援し、頑強なソースコードの実装、無駄がなく機能性の高いシステムの構築、安定したビジネスプロセスの実現を可能とします。数々の賞を受賞した Parasoft 製品は、長年の研究成果と経験から得られたノウハウを自動化し、エンタープライズシステムから組み込みソフトウェアまで、どのようなタイプのソフトウェア開発においても、生産性向上と品質改善を実現します。Parasoft のコンサルティングサービスは、ツールでは解決できない問題の解決や開発プロセスの改善など、Parasoft の 25 年以上の経験を直接お客様に提供し、お客様の改善活動を支援します。

詳細は Web サイト : <http://www.parasoft.com/> をご参照ください。

【この発表に関するお問い合わせ先】

テクマトリックス株式会社

システムエンジニアリング事業部 ソフトウェアエンジニアリング営業部

TEL 03-4405-7853 FAX 03-6436-3553

E-MAIL: parasoft-info@techmatrix.co.jp

URL: <http://parasoft.techmatrix.jp/>

ここに記載された各ハードウェア及びソフトウェアは、それぞれのメーカーの商品名もしくは商標です。